

Ⅲ 事業実績報告

1. 技術開発の方向と全体計画

(1) 技術開発目標

種苗生産：殻高7mmサイズの稚貝10万個体を生産するとともに、種苗生産の省力化技術を確立する。

中間育成：殻高25mmサイズまでの中間育成を実施し、放流稚貝2万個体を生産する。低水温期のへい死要因と対策を検討し、漁協単位でも中間育成を実施できる技術を確立する。

放流技術：放流した稚貝がより多く漁業資源に加入できるような放流環境、放流方法を明らかにする。

(2) 年度別事業計画

対象種名	技術開発項目	実施内容	10	11
ヤコウガイ	種苗生産技術開発 (省力化技術開発)	種苗生産試験	◎	◎
		施肥効果試験	◎	
		昼間採卵試験		◎
	中間育成技術開発 (省力化技術開発) (低水温期のへい死対策)	中間育成試験	◎	◎
		施肥効果試験	◎	
		餌料培養試験	◎	◎
		保存試験		◎
	放流技術開発	加温試験		◎
		標識放流試験	◎	◎
		漁獲物調査	◎	◎
		標識脱落率試験	◎	◎
		放流効果の検討	◎	◎
		漁業実態調査	◎	◎